

会 議 録

会 議 名	令和3年度文化によるまちづくり推進委員会（第4回）	
開 催 日 時	令和3年12月27日（月） 18時～19時	
開 催 場 所	市役所3階 大会議室	
出 席 者	岸田 茂、池上 雅代、廣田 由実、縄田 五月、穂本 真一、原 雅典、竹内 道子、松永 進、湯城 明彦、塩田 賢二、縄手 秀樹	委員数 17人 出席者数 11人
欠 席 者	中戸 千恵、坂井 久美子、齊藤 大二郎、城戸 邦之、比嘉 朝康、岩本 信子、	欠席者数 6人
事務担当課及び職員	市民部文化スポーツ推進課 市民部：川崎部長、芳司参与 文化スポーツ推進課：石田課長、丸田係長、奥 / 文化会館：渡邊館長	
会 議 次 第	1 各分科会からの報告 2 「山陽小野田市 文化芸術のまちづくりビジョン（案）」の策定 ・ビジョン全体について ・基本目標と重点プロジェクトについて 3 その他	
事務局	<p>次第1 各分科会からの報告</p> <p>事務局から11月に開催した各分科会について説明。その後、3つの分科会の長が意見を報告した。</p> <p style="padding-left: 40px;">第1部会長 竹内 道子 第2部会長 穂本 真一 第3部会長 湯城 明彦</p> <p>報告したことについて、委員からの意見・質問なし。</p>	
委員長	<p>各部会からの報告には共通項があり、「専門性」「コーディネート」「サステナビリティ（継続性）」「指定管理者制度」があげられる。また、これらを文化協会にもとりいれていけば、組織としてのバージョンアップにつながり、これまでの現ビジョン検証における課題解決の糸口になると思う。</p>	
事務局	<p>次第2 「山陽小野田市 文化芸術のまちづくりビジョン（案）」の策定</p> <p>事務局から配布資料の「山陽小野田市 文化芸術のまちづくりビジョン（案）」と「資料1」を用いて、ビジョン全体と基本目標と重点プロジェクトについて説明。</p>	

委員	<p>「山陽小野田市 文化芸術のまちづくりビジョン (案)」について、市民向けによりわかりやすい表現にしてほしい。</p> <p>例えば、</p> <p>①「資料1」の1枚目の基本目標①の重点プロジェクト①-1文化芸術活動の活性化のプロジェクトのうち、目的・内容の『自己実現の一環としての発表の場の提供だけでなく、リスペクトの対象となり得る・・・』とあるが、この“リスペクト”とは何を指しているのか。</p> <p>②3枚目の基本目標③の重点プロジェクト③-2市の魅力となる文化芸術の創出のうち、現状と課題の「まちのアイデンティティ」とは何か。</p> <p>③「アウトリーチ」等の専門用語についても、注釈や説明文があるとわかりやすいかと思う。</p> <p>④「まちづくりビジョン (案)」の後ろから4ページの『4、推進体制と進行管理』の(2)計画の進行管理の本文の6行が1文で記述されているため、簡潔にまとめられてあるとより良いと思う。</p> <p>⑤文字のサイズについても、タイトルより本文が小さいため見にくく、どこが重要なかがわかりづらい。同じ文字サイズで区別するのであれば枠で囲む、色付けするなどの工夫をしてはどうだろうか。</p>
委員長	<p>①の“リスペクト”について、補足説明する。</p> <p>まず、拍手には2種類ある。「よく頑張った」という拍手と「感動しました」という拍手。後者の「感動しました」という拍手に「あなたは“リスペクト”の対象です。」という意味があるため、重点プロジェクト①-1ではこれを指していると思う。</p>
委員	<p>「資料1」の基本目標②の重点プロジェクト②-1文化の多様な担い手の育成支援のうち、事業の『文化芸術の担い手支援の検討』とあるが、“検討する”とはどういうことなのか。検討という表現では、するのかもしれないがはっきりしていない。例えば、焦点を絞ってガラス作家に支援するとした方がわかりやすいと思うがいかがだろうか。</p>
事務局	<p>支援については、補助金による支援や環境や体制を整える支援といった様々な体制があるため、今後他市町の状況と本市の状況を調査・研究していくため“検討”という表現を用いている。</p> <p>また、ガラス作家だけではなく、様々な芸術文化で活躍されている方を調査していく。</p>
委員	<p>若手ガラス作家の活動の場も、発表の場も限られた中で努力している若手ガラス作家のためにも、また、山陽小野田市はガラスのまちということを定着させるためにも、若手ガラス作家の活動を支援します。とはっきり書</p>

	<p>いてもいいのではないか。</p>
事務局	<p>現代ガラス展 in 山陽小野田では、45歳以下という年齢制限を設けて開催していることから、若手ガラス作家にとっての発表の場として定着してきている。今後も若手ガラス作家への支援については、ガラス展の委員会において検討していく。</p> <p>また、ビジョン（案）の表現の強弱については、他とのバランスがあるため、全体を見ながら“検討する”→“努めていく”というような表現の仕方に変えていく必要があると思う。</p>
委員	<p>基本目標②の②-1文化の多様な担い手の育成支援のうち、(2)若手芸術家の活動支援《現状と課題》の3行目がよくわからなかったので教えてほしい。</p> <p>【「資料1」2枚目から抜粋】</p> <p>市内在住の若手芸術家を支援することが、将来、国内外で活躍する文化芸術の担い手を育成することに繋がることから、より活動意欲の上がる場の提供又は創出を行う必要がある。</p>
事務局	<p>表現が難しく、理解しにくいものだったことについては、事務局として反省し、見直すべきものであると捉えている。</p> <p>また、委員のみなさんには、配布しているビジョン（案）を見ていただく中で、御意見や御要望等があれば、任意の様式で構わないので令和4年1月14日（金）までに提出いただきたい。いただいた御意見をもとに協議し、新ビジョン（案）に反映させ、次回の会議の際に再度示す予定にしている。</p>
事務局	<p>次第3 その他</p> <p>質問や意見がないか問う。</p>
委員	<p>新しいビジョンは最終的に市民に公表することになるのか。</p>
事務局	<p>次回の本会議をもってビジョン（案）が完成したのち、市役所内での協議、パブリックコメントの募集を経て、3月末の策定を予定している。</p>